

平成 15 年 3 月 15 日開館以来の貸出点数がまもなく 200 万点となります。2,710 日目（開館 10 年）に当たる 6 月下旬頃と推定しています。ささやかな記念品を贈り、貸出 200 万点を祝う予定をしています。

平成 23 年度利用状況について

平成 23 年度の利用状況をお知らせします。貸出点数では 21 万 5,282 点と、前年度に比して約 4 千点の減となりました。雑誌が増えたものの一般書は横ばいとなったほか、AV 資料の減と児童書・絵本が昨年から引き続き減少傾向が見られます。それでも住民一人あたりの貸出点数では 14.1 点で、県内公共図書館トップの貸出率となっています。また、1 日平均では 732 点の貸出しでした。住民 1 人あたり年間に 7.8 回図書館へ足を運んでいただくなど多くの利用をいただいております。ますますのご利用をお願いします。

	実数	町民当たり	1 日あたり
貸出点数	215,282 点	14.1 点	732.3 点
入館者数	119,572 人	7.8 回	406.7 人



新着コーナー

◇一般書◇

『太陽は動かない』

吉田修一 著／幻冬舎
新油田開発利権争いの渦中で起きた射殺事件。AN 通信の鷹野は部下の田岡とともに、その背後関係を探っていた。商売敵や謎の美女が暗躍するなか、田岡が何者かに拉致された……。いったい何が起きているのか。

『山下清の放浪地図』

山下浩 監修／平凡社
‘日本のゴッホ’と謳われ一大ブームとなった天才画家・山下清の作品を、放浪ルートを巡る地図とともに紹介する。小沢信男、西加奈子、池内紀、都築響一によるエッセイも掲載。

『「もの忘れ外来」100 問 100 答』

奥村歩 著／阪急コミュニケーションズ

『震災後のことば』

吉本隆明、中村稔 著／日本経済新聞社

『レディ・マドンナ』

小路幸也 著／集英社

『語りつづける、届くまで』

大沢在昌 著／講談社

『ベトロ』

今野敏 著／中央公論新社

『消えた駅舎消える駅舎』

松尾定行 著／東京堂出版

『夢に見た娑婆』

佐藤雅美 著／文藝春秋

◇児童書◇

『よろしくともだち』

降矢なな 絵、内田麟太郎 作／偕成社
今回はあたらしい友人、コダヌキが登場。キツネたちと遊びたいけれど、オオカミが怖くてなかなか仲間に入れません。それを知ったオオカミは大ショック！やさしいオオカミであることを伝えようとするのですが……。

『おかあちゃんがつかったる』

長谷川義史 作／講談社
ほくがほしいものは何でもマシンで作ってしまうおかあちゃん。でも、作ってくれるものは、ちょっとかっこわるい。ある日、父親参観のお知らせをもってくると……。あったかくて、せつなくて、笑える家族の物語。

『いろいろおふるはいり隊！』

西村敏雄 絵、穂高順也 作／教育画劇

『おつかいまなんかじゃありません』

つちだのぶこ 絵、柏葉幸子 作／ポプラ社

『おうしげきだん』伊藤秀男 絵、スズキコージ 作／岩崎書店

展示コーナー

一般テーマ『リラックスしよう！』

新生活やゴールデンウィークの疲れが溜まってくるこの時期。ひと息ついて、身体と心をリラックスさせましょう。

児童テーマ『おとうさん』

おはなしの中にはいろいろなおとうさんが出てきます。やさしい、こわい、かっこいい、そしていっぱいばかりだけれども一生懸命……。あなたのおとうさんは、どんなかな？

おはなしの会

日時 毎週土曜日
6月2・16・23日(土) 午後2時～
9日(土) 午前10時30分～
場所 図書館内・おはなし室